

# 石ふしぎ大発見展

THE WONDER WORLD OF STONES 2015

第21回 大阪ショー

鉱物・化石の展示・即売ショー

地球の営みに触れる3日間

特別展示 KANSAI “石ふしぎ” スポット

< OSAKA ・ NARA ・ WAKAYAMA >

4/25(土)~27(月)

10:00~18:00 (最終日は16:00まで)

大 阪 OMMビル2F 京阪天満橋駅 東出口



■講演会

4/25 (土)

14:00~ 『火山活動と火山噴出物』

15:00~ 『南紀熊野ジオパークの地質学的魅力』

4/26 (日)

10:30~ 『大阪の鉱物を訪ねて』

■特別イベント

Ring♪Ring♪ サヌカイト

参加費800円 10:00~17:00 (最終日は10:00~16:00)

■無料鑑定会

4/27 (月)

10:30~11:30

益富地学会館認定 「鉱物・岩石無料鑑定会」  
(カットされた宝石や化石は除く、一人2点まで)

主催 (公財) 益富地学会館 石ふしぎ大発見展実行委員会

TEL.075-441-3280  
京都市上京区出水通烏丸西入ル

後 援 : 産経新聞社 / 日本地学研究会 / 白川書院  
特別展示協力 : 和歌山県立自然博物館 / 近畿地学会 / 京都大学総合博物館



# 「石ふしぎ大発見展」特別展示

## KANSAI “石ふしぎ”スポット

### < OSAKA・NARA・WAKAYAMA >

昨秋の石ふしぎ大発見展<京都ショー>での京都, 滋賀, 兵庫の“石ふしぎ”スポット紹介に続く第2弾で, 大阪府, 奈良県, 和歌山県の選りすぐりの地学スポットを紹介します。展示にあたって, 和歌山県立自然博物館, 京都大学総合博物館, 近畿地学会の山田正司氏, 中島満晴氏, 左向幸雄氏, 大阪石友会の澤田操氏, 京都府和束町在住の鶴田憲次氏に多大なご協力を頂きました。厚く御礼を申し上げます。

#### < 展示内容 >

#### ◇各地の化石が大集合!

3府県には幅広い時代の地層がみられ, 多様な古生物の化石が見つかっています。和歌山県広川町に産するサンゴの化石は, 関西最古で2億4千万年前のもので。主な展示標本は, 大阪府泉南地方の白亜紀後期のアンモナイト, 和歌山県有田川町や湯浅町などの白亜紀後期のモササウルスの歯やアンモナイト, 和歌山県串本町の第三紀中新世の貝やサメの歯, 生痕化石などです。



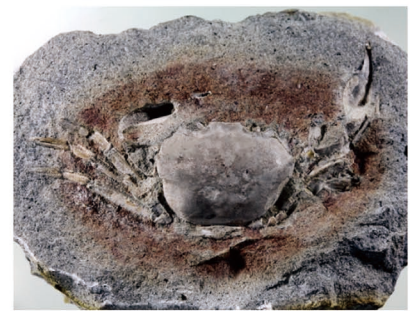
アンモナイト

ユーボストリコセラス・エロンガータム  
和歌山県有田川町鳥屋城山産  
塔状またはらせん状に巻いた  
形の異常巻きアンモナイト。  
山田正司氏所蔵, 上下約5 cm



サメの歯

アオザメ属の一種  
和歌山県串本町串本産  
アオザメ属の歯は, 細長くて縁  
にギザギザが全くないのが特徴。  
左向幸雄氏所蔵, 上下約3.5 cm



カニ

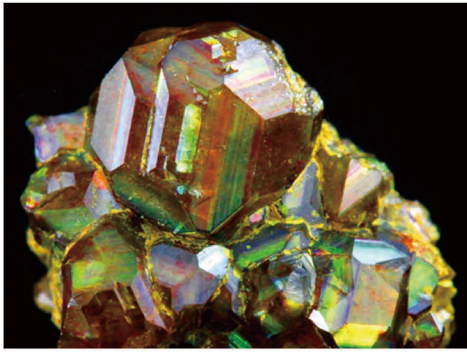
ムカシエンコウガニ  
奈良県奈良市藤原町産  
現生のエンコウガニは, 水深が  
50-100 mの深海に生息。  
益富地学会館所蔵, 左右約8 cm

#### ◇大阪府の鉱物

大阪府の地質は, 平野部を中心に広範が新しい時代の堆積層に覆われ, 多様性に乏しいイメージがあり, 日本で最も産出鉱物種の少ない地域の一つと云われてきました。しかし, 鉱物研究家たちによる調査により, これまでに130種以上が発見されています。近年には, 箕面市で新種の鉱物である大阪石や箕面石も発見されました。一般にはほとんど知られていませんが, 小規模ながら数多くの鉱山もありました。今回の展示では, 大阪の鉱物の収集と研究をライフワークにされている澤田操氏のコレクションを中心に, 大阪の鉱物を一堂に展示し, その産地を紹介します。

4月26日の, 澤田氏による講演会『大阪の鉱物を訪ねて』も是非ご聴講ください。





“レインボーガーネット”

灰ばんザクロ石 奈良県天川村産  
益富地学会館所蔵，左右約 1.5 cm



黄銅鉱

和歌山県那智勝浦町 妙法鉱山産  
益富地学会館所蔵，左右約 7 cm



栗栖川亀甲石包有層

和歌山県田辺市中辺路町

六角形のアミ模様の化石を含む砂岩層。昔は“コダイアミモ”の化石と言われていたが、現在では原生動物のトイレ?とされている。

### ◇奈良・和歌山の鉱物

近畿地方の地質図を眺めると、奈良、和歌山両県は北から南へ、領家帯、和泉層群、三波川帯、秩父帯、四万十帯という地質体が帯状に分布しています。そして、そこへ割り込むように、新生代第三紀の火山岩類がみられます。また、すでに閉山していますが、かつて鉱物資源を採掘した鉱山も数多くありました。各地の地質体に特徴的にみられる鉱物や、今では貴重となった鉱山から産出した鉱石・鉱物を展示します。

### ◇奈良県天川村の魅力的な美晶鉱物

天川村は、レインボーガーネットや水晶の日本式双晶など、魅力的な鉱物の宝庫です。秩父帯（中生代ジュラ紀の付加体の地層）に、貫入した大峯花崗岩類(中新世)による接触変成作用によって、ザクロ石などのスカルン鉱物が誕生しました。神秘的な天川村の鉱物の世界をお楽しみください。

### ◇地質関連の国指定天然記念物

3府県では、大阪府には地質関連の国指定天然記念物がありません。しかし、和歌山県には10ヶ所（内1ヶ所は指定解除）、奈良県には1ヶ所があります。景勝地として知名度が高い串本町の“橋杭岩”や“高地の虫食い岩”なども含まれます。それらのほとんどは昭和初期に指定されたもので、現在も石碑や案内表示が残っていますが、なかには案内標識も朽ちて、案内人なしでは見つけられないようなところもあります。

◇屏風岩・兜岩および鎧岩：奈良県宇陀郡曽爾村

◇門前の大岩：和歌山県日高郡由良町

◇栗栖川亀甲石包含層：和歌山県田辺市中辺路町

◇鳥巢半島の泥岩岩脈：和歌山県田辺市新庄町

◇田辺の鬼橋岩

：和歌山県田辺市神子浜〔指定解除〕

◇白浜の泥岩岩脈：和歌山県西牟婁郡白浜町

◇白浜の化石連痕：和歌山県西牟婁郡白浜町

◇古座川の一枚岩：和歌山県東牟婁郡古座川町

◇高池の虫喰岩：和歌山県東牟婁郡古座川町

◇橋杭岩：和歌山県東牟婁郡串本町

紀南・熊野地方は、日本ジオパークにも認定されていて、天然記念物のほかにも見どころが沢山です。南紀熊野ジオパークについても紹介します。4月26日には、南紀熊野ジオパーク推進協議会の学術専門委員長の鈴木博之先生の講演会があります。